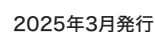


生駒市 協創対話 レポート

IKOMA
CO-CREATION
DIALOGUE
REPORT





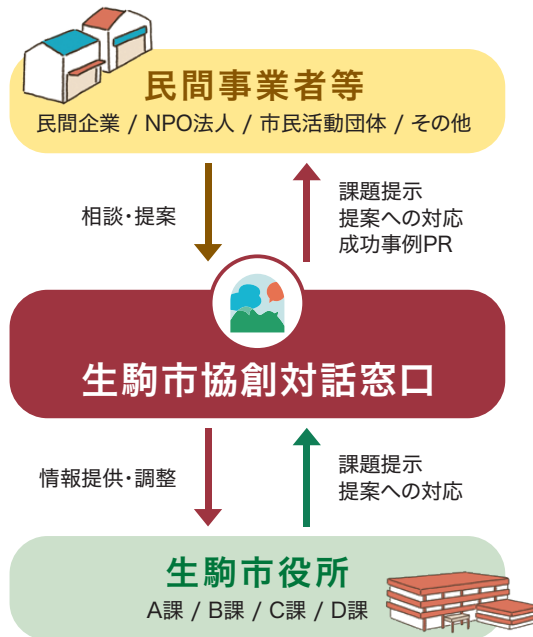
生駒市協創対話窓口

はじめに

少子高齢化、見えない孤独・孤立、空き家問題等の地域の課題は複雑に絡み合い、一方だけではなく他方にも視線を配りながら解決していく必要があります。そのため、自治体は、各部署が民間事業者・学術機関等と連携しながら課題を解決していくことが求められています。

協創対話窓口の設置と役割

生駒市では、民間事業者等と行政が対話による相互理解を進め、アイデアを持ち寄り、互いの強みを掛け合わせる協創によって、地域課題の解決と民間の取組促進に繋げるため、公民連携の提案窓口「生駒市協創対話窓口」を設置しています。民間事業者等と、対応する市役所内の部署との間に入り、提案を受け付けて調整する機能や、対話の伴走を行う機能等を担います。



協創で目指すもの

民間事業者等はビジネスや各団体固有の目的達成を目指す一方、自治体は地域の課題解決を目指しているので、そもそものベクトルは違います。協創により、双方の知見を掛け合わせ、互いにWin-Winな状況を実現することで、二つのベクトル間に新たなベクトルを生み出し、その先に市民にとってのウェルビーイングな未来を目指します。

提案方法

協創対話窓口が受け付けている提案方法は右の2種類です。(令和7年3月現在)

フリー型

民間事業者等が生駒市との連携を希望する事業やアイデアなどを、テーマを問わず自由に提案できる。

テーマ型

生駒市が抱える特定の地域課題に関するテーマを示し、そのテーマに対する連携事業の提案やアイデアなどを民間事業者等から募集する。

提案から実施までの流れ



提案者はHP上の専用フォームより協創提案シートを提出

※提案できるのは民間企業(個人事業主も含む)、大学、NPO法人等の団体のみ

窓口担当課が提案を確認し、担当部署と協議

提案者と担当部署との対話

初回対話は窓口担当課も同席。その後も必要に応じて対話をサポート

連携内容決定、連携事業を実施

これまでの連携実績 （一部抜粋）

令和6年
2月 習慣化アプリ「みんなチャレ」を
活用したフレイル予防

提案者 ▶ エーテンラボ株式会社
関係課 ▶ 地域包括ケア推進課

令和6年
3月 マイクラプログラミングで
SDGs教育

提案者 ▶ 株式会社ケーイーシー
関係課 ▶ 教育総務課

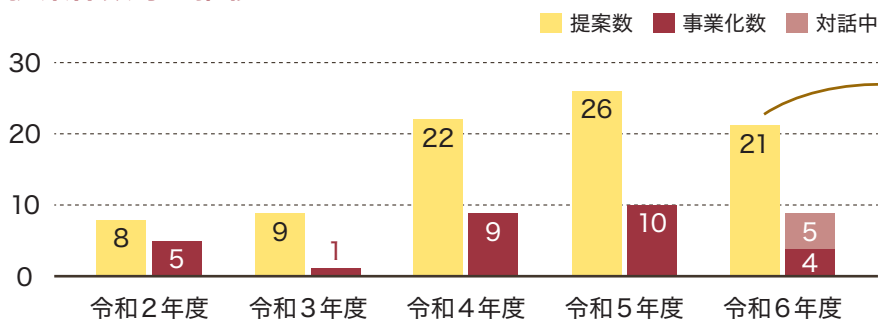
令和6年
6月 初めての人のためのITエンジニア講座
（教育NFTを活用したデジタル・リスキリング）

提案者 ▶ Institution for a Global Society 株式会社
関係課 ▶ 生涯学習課

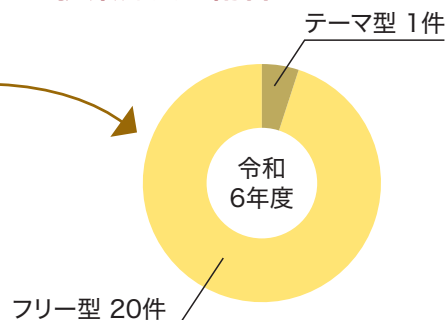
令和6年
9月 認知症月間イベント
電話とAIを活用した
「脳の健康チェック」第2弾

提案者 ▶ NTTコミュニケーションズ株式会社
関係課 ▶ 地域包括ケア推進課

提案件数等の推移



提案方法の割合



公民連携推進室の取り組み

3つの主な柱

- 公民連携の推進「協創対話窓口」の運営等
- 奈良先端大との連携の推進「I-SAP」等
- 包括、事業連携協定の推進

CSV(共通価値の創造)やSDGs(持続可能な開発目標)の達成などに向けて、民間事業者・大学等の自治体との連携ニーズは日々高まっています。行政の強みである信頼性・信用性や地域ネットワーク等と民間の強みである多様な資源、イノベーション力等を対話により掛け合わせ、協創による課題解決と新たな価値創造を目的として連携推進に取り組んでいます。

公民連携推進

公民連携を推進するためのワンストップ窓口「生駒市協創対話窓口」を運営。



いこま産学官アクセラレーションプログラム「I-SAP」

生駒市に立地する奈良先端大の研究者・学生が有する研究シーズ※科学技術研究の種(Seeds)の事業化支援を行い、生駒市に拠点を置くスタートアップの創出や、地域課題解決を図る施策への足掛かりとなることを目指す。



包括連携協定締結 生駒市×ならコープ

本市は、令和5年度までに7件の包括連携協定を締結しており、令和6年度は4月に、市民生活協同組合ならコープと、相互に連携の強化を図ることで生駒市内における地域の活性化及び市民サービスの向上を推進するため、8件目の包括連携協定を締結しました。



全国の先生に届けたい！

学校と10～20代の社会人をつなぐ ゲストティーチャーマッチングサイト 「試験版 U-29キャリア図鑑」

株式会社ユニーク × 生駒市教育指導課(教育政策室)



光明中学校と大瀬中学校の合同オンライン職業体験

MATCHING

連携事業者

株式会社ユニーク (2021年創業)

- ウェブメディア、オンラインコミュニティの運営
- PR / マーケティング、マッチング等の事業を運営
- これまで1000人以上のインタビューを通じて多種多様な人材ネットワークを構築し、ユニークな生き方の情報を発信



(運営サイト)

生駒市の課題

- ゲストティーチャーを招きたいが、ゲストとなるような社会人とのつながりを広げることが難しい
- もっと生徒の将来に役立つキャリア教育の機会を作りたい
- 生徒と年齢が近く、イキイキと働く現役社会人の姿や話を生徒に届けたい

子どもたちに「働くことの意味」を伝えるのは大切なこと。しかし、公立小中学校のキャリア教育現場では、社会との接点をつくりにくいという課題を抱えている学校も多いのではないのでしょうか。その課題解決に一石を投じた「試験版 U-29キャリア図鑑」は、10代、20代の社会人・起業家の生き方を発信する株式会社ユニークと、子どもたちに多様な社会人と触れ合ってもらいたいと願う生駒市の思いが見事にマッチした協創プロジェクトです。



START

事業者 VOICE

これまで10代、20代の若者と企業や地域のマッチングをしていましたが、教育の分野は縁がなく、今回初めてのトライアルでした。自分たちが今まで取材してきたネットワークを教育現場で生かせる機会となりました。生駒市さんの課題をヒアリングさせていただき、まずは一緒に授業を作ることからスタートしました。

生駒市 VOICE

ホームページには、職業紹介にとどまらず魅力的な若者の生き方を紹介するインタビュー記事が掲載されていたため、学校教育と結びつけて、子どもたちの将来の可能性や視野を広げることができると期待しました。



株式会社ユニーク運営サイト「U-29.com」

PROCESS

2年間さまざまなプロジェクトを実践



▲学校の図書室には、社会人のおすすめの本を掲示するなど、社会人と常につながれるアナログの環境もつくっています。

◀経験豊富なフリーランスや経営者の話を聞く授業。社会人と多くつながることで進路選択の幅が広がる。

1年目は、インタビューや記事作成などの仕事に携わっているユニーク代表者をはじめ、ライターやデザイナーが登壇しました。聞く、話す、書くという仕事について、インタビューシート作りをはじめ、インタビュアーやライターがどんな思いを持って働いているのか、何を心がけているのかを伝える授業を企画。2年目は、経験豊富なフリーランスや経営者15人の話を聞く授業など、より多くの社会人とつながり、進路選択に生かせる取り組みをしました。長期的なプロジェクトから単発授業まで可能性を追求した結果、学校教師から登壇依頼ができるゲストティーチャーマッチングサイト「試験版 U-29 キャリア図鑑」が完成しました。

事業者 VOICE

【よかった点】

- オンライン授業だからこそ、たくさんの社会人とつながることができた。
- 登壇者にとっても、前向きに取り組んでもらえるプロジェクトになった。
- 生駒市は初めて関わる地域だったため、当初は課題やその背景に関して知らないことが多くありましたが、目指したいことや教育現場の情報をたくさん共有してもらえ、不明瞭な点を解消しながら進めることができた。
- 生徒から、将来U-29のサイトで取材を受けたいと感想をもらえた。

生駒市 VOICE

【感想】

学校は多様な子どもたちがいるため、誰かのキャリアを馬鹿にしたり、否定したりするリスクがあるかもしれないという心配はありましたが、ユニークさんが保ち備えている質の高いコミュニティがあってこその人選で、子どもたちの可能性を広げてくれました。公立の教育現場だけではできなかったことを実現できました。

ズバリ!

「試験版 U-29キャリア図鑑」の魅力 子どもたちの視野を広げる架け橋に!

変化の激しい時代、計画通りに進まないことが多いキャリア形成について、個人のキャリアの8割は偶発的に作られると言われてしています。だからこそ、子どもの頃にどんな大人に出会えるかはとても重要です。実際にゲストティーチャー自身も子どもの頃に出会った大人の影響を受けて活躍している人たちです。「試験版 U-29 キャリア図鑑」では、過去の経験ではなく、今まさに重ねられている若者の経験と知恵に出会えます。これからの人生において、自分で正解を探りながら歩める勇気やヒント、意欲を掻き立てるきっかけを作ることができ、子どもたちの視野を広げることができると思います。たくさんの先生に活用してもらえることを願います。

U-29
キャリア
図鑑HP ▶



高齢者の健康促進！

チームみんなで目標達成にチャレンジ
習慣化アプリ「みんなチャレ」

エーテンラボ株式会社 ×

生駒市地域包括ケア推進課予防推進係



みんなチャレ

スマホのアプリ内で5人1組のチームを作り、目標に向かってがんばります

MATCHING

連携事業者

エーテンラボ株式会社 (2016年創業)

- 『テクノロジーでみんなを幸せにする』というミッションのもと、「みんなが行動変容できる世界をつくる」というビジョンの実現を目指す
- 5人1組の励まし合いで行動変容を実現する習慣化アプリ「みんなチャレ」を運営
- 46自治体での実績がある(2024年12月現在) (ホームページ)



生駒市の課題

- 高齢者向けにスマホを利用したフレイル予防ができていなかった
 - 介護予防のオンラインの取り組みはなかった
- ※フレイル予防とは、栄養、運動、社会参加の3つの柱をバランスよく取り組む介護予防のこと

今や世の中には健康管理アプリはたくさんあります。しかし、高齢者にとって、スマートフォンを使いこなせなかったり、一人で続けることが困難だったり。そんなお悩みを解消してくれるのが、エーテンラボ株式会社の習慣化アプリ「みんなチャレ」です。アプリ内でチームを作り、一人ではなく仲間5人と一緒に同じ目標に向かってみんなでがんばる、仲間同士の支え合いケアサポート型アプリ。今回は、生駒市地域包括ケア推進課予防推進係との連携で実証実験した内容を紹介します。



START

事業者 VOICE

みんなチャレは、ソニーの新規事業育成プログラムから誕生したスマートフォン向けの習慣化アプリです。エーテンラボ株式会社として独立し、アプリを運営しています。東京を拠点とし、当時は関東圏の自治体を中心にサービスを提供。2023年度に経産省の補助金を受けて、日本全国に広めていくため、そのひとつとして生駒市の公民連携事業に申し込みをしました。

生駒市 VOICE

生駒市は日頃から介護予防に積極的に取り組み、住民主体の集いの場はたくさんありますが、オンラインの取り組みはありませんでした。2023年12月に協創対話窓口を通して申し込みがあり、国の補助金事業の完了スケジュールの兼ね合いもありタイトなスケジュールでしたが、アプリ内でチームを作ってフレイル予防に取り組める内容はとても興味深かったため挑戦しました。



スマホアプリ「みんなチャレ」画面

PROCESS

チームごとに「歩数」の目標を立てて実証実験！



健康アプリ「みんなチャレ」を使ってフレイル予防に取り組もう！「フレイル予防×スマホ教室」と題し、「歩数」の目標を設定し、みんなで達成することを目指す講座を開催しました。2024年2月に2講座1セットを2回実施。アプリの使い方を学んだあと、実際にアプリを使う実習期間を設けて、最後に復習会を行いました。1ヶ月の実証実験で、70%の継続率、平均5300歩が7500歩に増加しました。参加者は、老人クラブ連合会の「いこいこクラブ生駒」の方や、市のスマホLINE教室の参加者、ご夫婦で参加された方もおられました。

◀ チームで目標を設定することで、互いの発見や喜びを共有でき、継続的に取り組めます。



事業者 VOICE

【よかった点】

- スマホの使い方の学びの場となり、デジタルデバイドの解消にもつながった。
- タイトなスケジュールでしたが、すばやく決定をしていただき、公民連携の枠組みで、スタートから最後まで手厚いフォローをしてもらえた。
- 生駒市での実績を参考にしたいと奈良県内の市町村の方にも興味を持ってもらえている。

生駒市 VOICE

【感想】

講座では、わかりやすい資料と丁寧な指導で参加者も和気あいあいと楽しんでおられました。講座後、電話で使い方のサポートもあり安心でした。高齢者にとってのスマホ利用の現状を知ることができ、新しい発見がたくさんありました。対面での人の集まりが苦手な方も気楽に参加できる事業への取組は、今後の介護予防施策にもつながれそうです。

ズバリ！

「みんなチャレ」の魅力

デジタルデバイド解消にも つながる健康づくり

「みんなチャレ」の魅力は、フレイル予防の柱である運動と社会参加をサポートし、市民同士がつながりながら、楽しく自然と健康になれる仕組みにあります。加えて、みんなチャレを活用することで高齢者のデジタルデバイド解消や孤独・孤立解消も実現できます。スマートフォンで人とつながり日々交流することで、利用者からは毎日の生活のハリができたという声をいただきました。今後みんなチャレは、自治体において高齢者のフレイル予防だけでなく、働き世代の健康づくりや重症化予防にも展開を広げていく予定です。

IKOMA
CO-CREATION
DIALOGUE
REPORT



生駒市役所 SDGs推進課
公民連携推進室

〒630-0288
奈良県生駒市東新町8-38
TEL 0743-74-1111